

質 問 回 答

2024年3月4日

「ブータン国バイオバンクによる未来型医療・ヘルスケアの事業開拓にむけた情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式ー ランプサム型))」

(公示日:2024年2月21日/調達管理番号:23a00857)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P2 第1章 入札の手続き 3. 競争に付する事項 (3)適用される契約約款:	業務実施契約約款(調査業務)第13条の2 「成果品に係る契約不適合」につきまして、契約不適合期間を契約締結時に調整させていただくことをご検討いただけないでしょうか。	原則は約款に記載のとおり進めることを前提としていますが、具体的に不都合等が生じるようでしたら、契約交渉時に詳細をお聞きし検討させていただきます。
2	P2 第2章 入札の手続き 3. 競争に付する事項 (3)適用される契約約款:	「本邦招へい業務は、21,261,000円(税抜)程度を予定」との記載があります。この額はp22に定額計上として指定された「本邦招へいにかかる経費」の額と差があります。この違いはどのように理解すればよろしいでしょうか。前者が11,261,000円(税抜)のタイポでしょうか。それとも後者で示された定額計上経費のほかに約10,000,000円の直接経費の追加計上を想定すべきということでしょうか。	失礼しました。本邦招へいにかかる定額計上は、報酬:3,761,000円、国内業務費:7,500,000円、合計:11,261,000円として下さい。
3	P15 第3章 特記仕様書 第4条 調査の内容 (2)(1)の情報収集・分析・仮説立案のために必要なブータン関係者の招聘を通じた本邦関係機関との協業の具体的なアイデアの探索	「上記セミナーの結果を踏まえた本邦関係機関との協業のPoC検討・実施」という記載があります。定額計上の中にPoC実施経費が入っていないことに鑑みると、PoCの「実施」については、本調査のスコープ外であることが想定されましたが、いかがでしょうか。 仮にPoCの実施が本調査のスコープ外であ	PoCの「実施」自体は本調査のスコープ外となります。またPoCについては、将来JICAによる技術協力等のスキームを活用して実施することを想定しています。

		り、かつこの調査に基づいた PoC の将来的な実施を想定されている場合、いかなる建付けで実施されることを想定すればよろしいでしょうか（既往の ODA 案件の中で実施、新規の ODA 案件組成を追求、又はいずれの可能性もオープンといったシナリオがあるかと思われます）。	
4	P19 第4章 技術提案書作成要領 (2)業務量の目途	「上記の業務人月は、国内移動手配に関連し JICA が契約する旅行会社への国内移動旅行の手配依頼書の送付、旅行手配内容の調整・検収、国内機関への報告を含む。」との記載がありますが、国際旅行手配については言及がありません。これは国際旅行手配のような研修の「受入業務」を受注者が実施すべきと想定しているわけではなく、「実施業務」の日程調整に付随した作業を例示したものと理解しましたが、よろしいでしょうか。（旅行業法上の登録がなされていない業者は、旅行手配を基本的に受注できないと思われます。そのため受注者による実施が想定されるのは貴機構「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」上の「実施業務」のみであり、旅行業法上懸念となりうる業務は含まれないことを確認したい趣旨です。）	「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」に記載の通り国際航空券の手配は受入業務にあたるため、JICA で対応します。
5	第2章 第3条(1)	実施中技術協力プロジェクトとの調整について、具体的なすみ分けを検討するにあたり必要な情報は、業務開始後に提供いただけるのでしょうか。	契約締結後に共有させていただくことを想定しています

6	第2章 第3条(1)	上記質問にも関連しますが、技術協力プロジェクトの一環で昨年もブータン関係者の本邦招へいにてバイオバンク施設の見学や検討が行われたものと認識しております。その際にどのような議論が行われ、どのような結論に至ったか、ご教示頂くことは可能でしょうか。	上記質問と同様契約締結後に共有させていただくことを想定しています。
7	第2章 第4条(1)	「②収益獲得の可能性(ロングリスト)」とは、ビジネスモデルの案を複数示したもの、「③特に可能性の高いアイデアの特定」とは、②の中からより可能性が高い案に絞り込んだもの(ショートリスト)、という理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
8	第3章 1. (2)	「本邦招へいに関する業務人月 1.2 人月を含む(本経費は定額計上に含まれる)」について、この業務人月 1.2 人月は、全体 7.54 人月に含まれ、本邦招へいに係る直接経費が定額計上に含まれるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
9	第3章 1. (2)	現地渡航回数延べ 6 回とのことですが、技術協力プロジェクトで計画されている現地渡航と合わせて、本調査団も渡航する想定でしょうか。あるいは、技術協力プロジェクトとは切り離して本調査団のみで渡航するケースも想定されるでしょうか。	実施中の技術協力プロジェクトとは情報共有しながら本調査を進めることを想定していますが、基本的には本調査団として独立して調査を進めていただくことを想定しています。

以上